

愛知県名古屋市に立地する「クリエイション・コア名古屋」で空気圧サーボ機器の開発・設計・製造に取り組む「ピー・エス・シー株式会社」について、代表取締役の佐々木 勝美氏にお話をうかがいました。



佐々木 勝美 社長

■ 会社概要

入居BI クリエイション・コア名古屋
 代表取締役 佐々木 勝美
 所在地 名古屋市守山区
 大字下志段味字穴ヶ洞2266-22
 クリエイション・コア名古屋 205号室
 業種 空気圧サーボ技術を活用した機器の
 開発・設計・製造
 URL <http://www.psc-net.co.jp/>

- 2002年 会社設立
 クリエイション・コア名古屋に入居
 中小企業総合事業団「創業・経営革新支援事業」に採択
 厚木営業所を開設
- 2003年 愛知県「ベンチャー企業研究開発事業費補助金」に採択
 名古屋市「事業可能性評価」でA評価認定を受ける
- 2004年 中部経済産業局「中小企業・ベンチャー挑戦支援事業のうち実用化研究開発事業」に採択
 厚木工場を開設
- 2005年 厚木市「ビジネスプランあつぎ」で最優秀賞を受賞
- 2006年 中部経済産業局「中小企業・ベンチャー挑戦支援事業のうち実用化研究開発事業」に採択
 (社)日本機械学会「神奈川ブロック技術賞」を受賞
- 2007年 (社)計測自動制御学会「産業応用部門技術賞」を受賞
- 2011年 (公財)中部科学技術センター「奨励賞」を受賞

世の中のニーズに応え続ける「空気圧サーボ技術」のプロフェッショナル集団

》》 会社のおいたち、なぜ入居したのか

オンリーワンの「空気圧サーボ技術」で独立を決める

——会社設立の経緯、技術の優位性について教えてください。

当時の私は、勤めていた油圧機器メーカーが外資系大手メーカーに吸収合併されるかもしれないという状況下に置かれていました。そこでこの機会に、油圧機器メーカーで長年培ってきた「空気圧サーボ技術」をベースとして同僚2人と独立・起業することを決めました。私を含めて3人の小さな会社からのスタートでした。

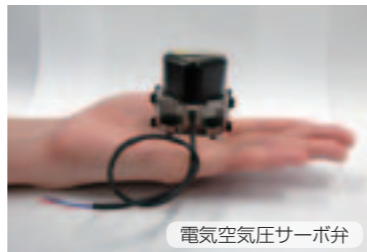
当社技術の軸となる「サーボ」とは、指示した位置や速度にすばやく追従させる制御を行う装置のことで、精密機器や工作機械、輸送機械等に用いられています。サーボには、電動モータで動く電動サーボ、油圧で動く油圧サーボ、空気圧で動く空気圧サーボの3種類がありますが、現在工業利用されているのは主に電動サーボと油圧サーボです。精度の高い駆動が特長の電動サーボは、半導体製造装置等の精密機器に多く用いられていますが、電動サーボは熱と磁気を発生するため、冷却と防磁が必要になります。熱による金属膨張は、精密機器にとっては大きな問題です。また、高い出力が得られる油圧サーボは、工作機械に多く使われていますが、ゴミや油漏れに注意が必要で、メンテナンスに手間がかかるのが欠点です。一方、空気圧サーボは、熱や磁気が発生しない、クリーンでメンテナンスが容易、構造が単純なのでコンパクトといったメリットがありますが、位置精度が良くないことから、これまであまり使われてきませんでした。当社は、空気を自在に操る独自技術によって高精度で高レスポンスの空気圧サーボを実現しました。

油圧機器メーカーでは目の目を見なかった空気圧サーボ技術ですが、他にない当社だけのオンリーワン技術であり、競争も少なく付加価値が非常に高いので、事業として必ず成功すると信じて起業しました。

——インキュベータ入居を考えたきっかけは何でしたか？

起業にあたって、製品の設計から試作までを行える場所の確保が不可欠でした。しかし、十分な通信・研究設備が整っている場所を借りるには資金面での問題がありました。

そこで、知人の縁で、インキュベーション施設を紹介して頂きました。そして、市からの賃料補助や国からの支援が受けられる「クリエイション・コア名古屋」を選択し、入居に至りました。クリエイション・コア名古屋には、施設の設立時から現在に至るまで入居し、事業展開しております。



電気空気圧サーボ弁

》》 入居—その後の成長、展開

3 大柱のビジネスモデルで事業展開

——現在では各所からの受注が増えつつあるとお聞きました。

当社は、お客様のニーズに合わせてオーダーメイドで空気圧サーボ機器の設計・製造を行います。一般産機関連、半導体関連、車両関連の3本柱で事業展開しております。事業を始めた当初は、オンリーワンであるが故に空気圧サーボの優位性・メリットが理解してもらえず、なかなか採用してもらえませんでした。近年では、当社の技術に対する信頼も獲得されつつあり、開発案件が多く挙がってきています。特に、鉄道車両関連での受注が増え、現在では、当社の空気圧サーボ機器を導入した車体傾斜装置や車体動揺防止装置が使われております。高速化に伴い大きくなる車両振動を改善し、乗り心地の向上を多くの皆様に提供することができています。

——現在に至るまでにどのようなご苦労がありましたか？

会社設立以来ずっと赤字を続けてきましたが、リーマンショック後は、主軸であった一般産機関連の受注が大きく落ち込み、2期連続で赤字となった時期もありました。

しかし、ここで独自の開発力、他にないオンリーワン技術を信じ、当時はまだ事業規模が小さかった車両関連分野への進出を計てきました。採用まで約5年かかるなどお金も時間も必要な事業でありましたが、相手先のニーズに応えながら開発に取り組み続けました。今では、売り上げの中心が一般産機関連であった状態から、3つの事業分野へと再構築し、より安定した経営を行えるようになりました。

——クリエイション・コア名古屋に入居してよかったことは何でしょうか？

事業を行う上で必要な設備が整っていて、働きやすい環境を提供して頂いていると思います。社員も快適でとても良い環境で仕事が出来ているようです。

また、インキュベーションマネージャー（通称：IM）には、国の経営革新計画の承認申請に関するアドバイスや、助成金情報の提供、日本政策金融公庫から融資を受けるに際しての支援を行って頂きました。とてもありがたいですね。

》》 そして、これから…/今後の課題

設立当時の目標である新社屋建設と新たな事業分野への進出

——御社の今後の展望をお聞かせください。

設立時は社員3名からのスタートでしたが、現在では人材教育にも力を入れながら社員数23名まで成長することが出来ました。また2013年の夏には、クリエイション・コア名古屋の近郊に

オフィス兼工場の自社社屋が完成する予定です。設立時に掲げた「10年で自社の社屋を建てる」という目標が1年遅れで達成できそうです。これで、さらなる事業の拡大に向けて新たなスタートラインに立てました。

現在の3本柱に追従する新たな柱となる事業にも着手しています。まだ詳細は計画中ですが、大手企業のOBと連携して研究室を設置し、開発に取り組んでいきます。いずれ4本目の柱として育てていくつもりです。

私は、開発とは「答えの見えないことへの挑戦」であると考えています。もちろん時間もかかりますしリスクも伴います。しかし、失敗を恐れずに長い目で考えることに成功の秘訣があると思います。また、それは、製品開発だけでなく、人材開発においても当てはまることだと思います。人材に関しても、一人一人の社員を、時間をかけて教育していく。それこそが大事なことであると思います。

今後は、世の中の流れが複雑化する中で、当社が長年培ってきた空気圧サーボ技術に磨きをかけ、あらゆるニーズに対応し、国内、海外のあらゆる開発案件に向き合っていくと思っています。独自の開発力、他にないオンリーワンの技術力で勝負していきたいと考えています。



製造風景

from IM

クリエイション・コア名古屋
IM 速田 義博



オンリーワンの技術をもとに、CC名古屋で創業され発展された代表的な企業です。外部環境の変化に、高い技術開発力と市場第一主義で対応されてきました。現在も4本目の柱を構築中と更なる発展が期待できる、意欲的なプロフェッショナル集団です。新社屋へ移転後も、近所ですのでOB企業として情報提供をしていきたいと思っています。

クリエイション・コア名古屋



クリエイション・コア名古屋は、中小機構が名古屋市内に整備した起業や第2創業を目指す人々をサポートする新事業創出型のインキュベーション施設です。同施設には、IMという支援スタッフが常駐し、入居者の皆様の事業の実現を図るべく、産学連携や知財戦略、事業計画の作成から資金調達、販路開拓に至るまで、あらゆる課題のサポートを行います。

また、産業技術総合研究所中部センター等の公的研究機関と密接な連携が可能ですし、財団法人名古屋産業振興公社等の支援機関から多様な支援が受けられます。

〒463-0003
愛知県名古屋市守山区下志段味穴ヶ洞2266-22
Tel. Fax. 052-736-3909

